
岐阜県環境教育推進活動

令和7年 2 月

岐阜県環境生活部環境生活政策課

第6次岐阜県環境基本計画



1 計画の位置づけ

- 岐阜県環境基本条例に基づく計画で、**県の環境に関する各計画の最上位に当たる計画**
- 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律に規定される県行動計画を包含

2 5つの基本施策

- 1 「脱炭素社会ぎふ」の実現と気候変動への対応
- 2 資源循環型社会の形成
- 3 美しく豊かな環境との共生
- 4 安全・安心な生活環境の確保
- 5 未来につなぐ人づくりとライフスタイルの変容
 - 多様な主体間の連携による人づくり
 - 環境にやさしいライフスタイルやビジネスマインドへの変容

多様な主体間の連携による人づくり

1 施策の方向性

切れ目なく環境学習を提供することで、
県民一人ひとりが環境問題を自身の問題と捉え、
環境保全に向けた活動や学習が積極的に行われる岐阜県を目指す。

- (1) いつでも環境学習コンテンツにアクセスできる環境の整備
- (2) 小学校、中学校、高等学校等における環境学習の支援
- (3) 高等学校、大学における環境に関する学びの深化・発展

(1) いつでも環境学習コンテンツにアクセスできる環境の整備

① ぎふ環境学習ポータルサイト (1)

○概要

主体的な環境学習を支援するため、環境学習教材、企業等が提供する環境学習プログラム、環境関連情報などをワンストップで提供

○サイトの特徴



(1) いつでも環境学習コンテンツにアクセスできる環境の整備

① ぎふ環境学習ポータルサイト (2)

○環境学習教材

●ギフノミライ



●ぎふ環境エコ検定



●清流の国ぎふ
環境教育副読本



●講義形式動画

温暖化で、岐阜県の特産品
富有柿の鮮やかな色がなくなる？

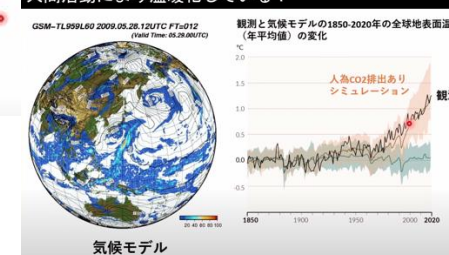
柿は、9月の平均気温が21～23℃に下がることで着色します。
今後、残暑の厳しさが増すと、美味しさには大きな影響がないものの、
特徴である鮮やかな紅色が薄くなる可能性があります。

こんなことがわかってきました

富有柿の産地・本巣市や稲穂市などの気候は、元来柿づくりに
適していました。特に「9月の平均気温が21～23℃」と着色の
成分「カロロフィアル」が薄くなり、着色の成分「カロノイド」を薄く
します。温暖化が進んだ2040年代の9月には産地のほとんどがこの
温度を超える予測があり、柿の紅色の着色が薄くなる可能性が
高いのです。



人間活動により温暖化している？



(1) いつでも環境学習コンテンツにアクセスできる環境の整備

① ぎふ環境学習ポータルサイト (3)

●企業等が提供する環境学習プログラム

[対 象] 一般、児童・生徒、教職員

[内 容] 県、市町村、市民団体、企業などが提供する環境学習プログラムを掲載

[掲載数]

令和4年度	令和5年度	令和6年度
52	63	72

(令和7年1月末現在)

[プログラム例]



生物多様性シンポジウム
(市町村主催)



自然塾
(企業主催)



菅田修学校公開セミナー
(団体主催)



可児川探検ツアー 一川の水量や生き物観察から“生物多様性”を五感で学ぶ
開催日: 2025年02月08日、2025年03月08日
開催エリア: 岐阜県



日本野鳥の会 初心者限定バードウォッチング
開催日: 2025年02月08日
開催エリア: 岐阜県



Dive into 植物 world! 一樹大の樹名板をつくろう! 一
開催日: 2025年07月11日
開催エリア: 岐阜県



リデザインプロジェクト ミニリース作り
開催日: 2025年01月11日、2025年01月12日
2025年01月11日(土) コープぎふ岐阜店
2025年01月12日(日) コープぎふ可児店
開催エリア: 岐阜県、中津川



光・熱・電気の変換実験講座「光・熱・電気の不思議!」-パルチェ素子を使ってみよう-
開催日: 2025年01月19日
開催エリア: 岐阜県



菅田修学校公開セミナー 菅田川の豊かな自然、子供たちが遊べる川を伝えたい 一ハゼコ(安藤穂オオサンショウウオ)を解明しよう!
開催日: 2024年12月27日
開催エリア: 岐阜県



生物多様性シンポジウム
開催日: 2025年01月25日
第1回: 2024/8/6 第2回: 2025/1/25
開催エリア: 岐阜県



アクティブG 木のクリスマスマーケット
開催日: 2024年12月07日、2024年12月08日
開催エリア: 岐阜県



メーテレ上場アナのSDGs出前教室
開催日: 2024年12月15日
開催エリア: 岐阜県



和光会グループ 第6回SDGs子どもミーティング
開催日: 2024年11月30日



グリーンウッドワーク ガイドハイクとクリスマスツリーづくり(2024後編 木工塾)
開催日: 2024年12月08日
開催エリア: 中津川

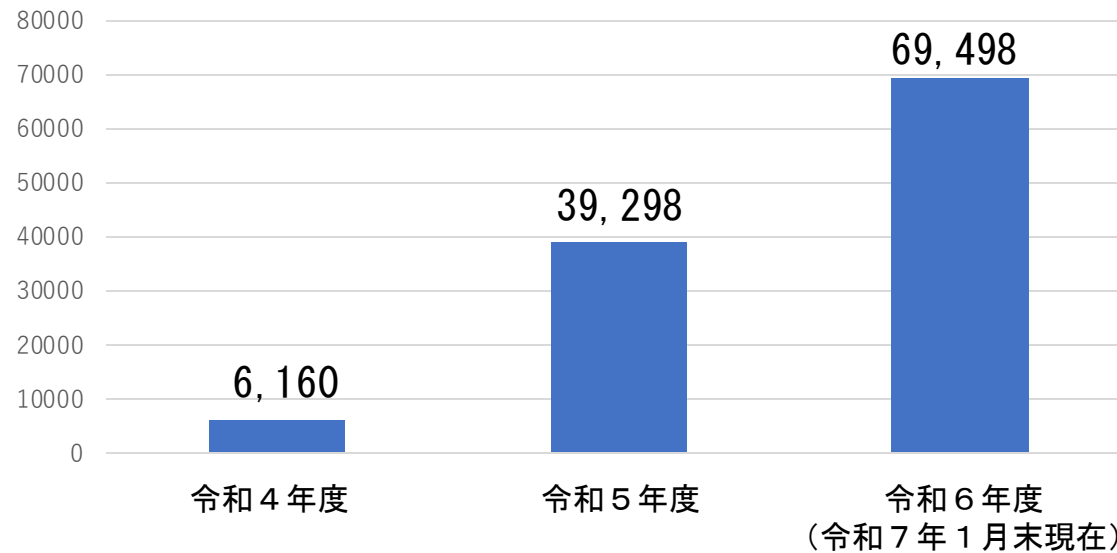


くもろ工房 「木のスプーンづくり」(全2回)
開催日: 2025年03月04日、2025年03月11日
開催エリア: 岐阜県

(1) いつでも環境学習コンテンツにアクセスできる環境の整備

① ぎふ環境学習ポータルサイト（4）

○「ぎふ環境学習ポータルサイト」アクセス数



[令和4年度] プレスリリースをした以外は、特段の広報活動は行っていなかった

[令和5年度] 学習コンテンツの充実を図るとともに、実際に環境教育を担う教員や有識者、団体等にPRしたほか、サイトに関するパンフレットを作成し、県や市町村が開催するイベント等で配布し、県民へもPR

[令和6年度] 令和5年度における取組みに加え、担当が学校を訪問して利活用に関する意見を収集し、学習コンテンツの更なる充実を図り、アクセス数の更なる向上に努める

(2) 小学校、中学校、高等学校等における環境学習の支援



① 世代ごとの環境学習教材の制作 (1)

【小学校期】

●清流の国ぎふ環境副読本

- [対 象] 小学校5年生全員に配布
- [内 容] 岐阜県の環境問題について写真やデータで学ぶ冊子
- [活用例] 社会科、理科、家庭科
総合的な学習の時間

●ギフノミライ

- [対 象] 小学校高学年
- [内 容] 環境学習動画
- [活用例] 社会科、理科、家庭科
総合的な学習の時間

●ぎふ環境エコ検定

- [対 象] 小学校高学年
- [内 容] クイズ形式で学ぶ
ウェブコンテンツ
- [活用例] 環境副読本学習後の
復習教材

【中学校期】

●環境学習動画

- [対 象] 中学生全般
- [内 容] 岐阜県の現状を踏まえた
環境学習動画
- [活用例] 社会科、理科、家庭科
総合的な学習の時間

【高等学校期】

●講義形式動画

- [対 象] 高校生全般
- [内 容] 岐阜県の環境問題を
より専門的に講義形式
で学ぶ動画
- [活用例] 総合的な探究の時間

【あらゆる世代へ】

●環境教育推進員による出前講座

- [対 象] 学校、企業、市町村、団体等
- [内 容] 依頼者からの要望に応じた環境教育をテーマとした出前講座
- [活用例] 社会科、理科、生活科、家庭科
総合的な学習の時間、探究の時間
社員・職員研修

※ 本事業は、学校に限らず企業・市町村・団体等へも出向き、
環境に関する講座、体験プログラム等を実施

(2) 小学校、中学校、高等学校等における環境学習の支援



② 体験を通じた学習支援 (1)

●脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー

○目的

「脱炭素社会ぎふ」を支える人材を育成するため、体験や交流を通じて、森・川・海のつながりや環境問題に関する理解を深め、環境にやさしい行動を学ぶ

○内容

- [対 象] 県内の小・中学生とその保護者
- [コース] 15コース (夏：7 秋：6 冬：2)
- [テーマ] 岐阜の森林、岐阜の川、生物多様性、地球温暖化、資源循環など、環境に関する10のテーマ
- [特 徴] 環境保全活動を行う団体との連携、交流
オフセットクレジットを利用してカーボン・オフセットを実施
- [広 報] ツアー発着市町村の小中学校へのチラシ配布
県内全小中学校へのデータによる広報

○実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加者 (人)	235	348	319

令和6年度 清流の国ぎふ

親子環境学習 **脱炭素社会ぎふ**を支える人づくりツアー **夏コース**

森・川・海での自然体験や保全活動を通じて、流域のつながりや環境問題について親子で考え、環境にやさしい行動を学ぶ環境学習ツアーです。

子どもたちに残したい未来のために親子で環境問題や保全について少し学んでみませんか？ 私たちにできる事からはじめよう！

全8コース

発売日 2024年6月21日(金) 12:00～

開催期間 2024年7月20日(土)～9月7日(土)
※申込受付は各コース先着順(コースの枠数は中継まで)

参加対象者(参加資格) 岐阜県内にお住まいの小・中学生と同伴の保護者(18歳以上の方)
※コースにより制限年齢が異なります。
※お子様のみのご参加はできません。
※必ず保護者同伴で申し込んでください。
※お申し込み、または参加の申し込みはできません。
※食物アレルギーがある場合は、申込時にご連絡ください。

集合・解散場所 JR岐阜駅・JR大垣駅・大垣市北地区センター
各務原市民公園前・中濃総合庁舎
稲見鉄道大垣駅 ※コースにより集合・解散場所が異なります。

送迎 同行いたします

申込受付は先着順 / 6/21@12:00～
お1人様1コースのみの申込みとさせていただきます
※お申し込みの受付は、お申し込みの受付期間内までとなります。

G-クレジット制度
G-クレジット制度とは？
岐阜県内の適切に管理された森林による二酸化炭素吸収量を「クレジット」として買収・販売する制度です。
クレジットは？
【クレジット】の売買による収益で、林業事業者は健全で豊かな森林づくりを進めることができます。
企業等は「クレジット」の活用を通じて、脱炭素経営に取り組むことができます。

二酸化炭素の吸収量と排出量の目安
岐阜県内の1世帯の二酸化炭素排出量は年間約3.3t-CO2
(1世帯の消費電力と暖房費の合計)※
岐阜県内の1世帯の二酸化炭素吸収量は年間約3.3t-CO2
(吸収する木材は、樹齢30年未満15㎡、木高30cm)※
※1t-CO2は約14kgの炭素です。
(※1t-CO2は約14kgの炭素です。)

※こちらのツアーは環境学習ツアーとなりますので、ツアー行程内にて学習のふりかえり、発表会、修了証の発給をいたします。

このツアーは岐阜県からの委託を受け、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して実施しています。
『清流の国ぎふ』文化祭2024・清流の国ぎふ観光2024 応援事業

旅行企画・実施：株式会社日本旅行 岐阜支店

(2) 小学校、中学校、高等学校等における環境学習の支援

② 体験を通じた学習支援 (2)

○令和6年度ツアーの状況 (夏コース)

令和6年8月25日 (日)
「はざこ探検」って何だろう？生物博士と探す
「国の特別天然記念物オオサンショウウオ」

[当日の様子]

[プログラム] 生物多様性の環境学習
天然和良鮎と養殖鮎の食べ比べ
はざこ探検
「オーガニックきのこ」の収穫体験

[協力団体等] 岐阜大学教授
和良おこし協議会

[参加者の声]

- ・川を汚さないようにしようと思った。
- ・オオサンショウウオがいる環境を守ろうと思った。
- ・きれいな山、きれいな川を守りたい。
- ・環境保全活動に今後も参加し、さらに意識を高めたいと思った。



生物多様性の学習 (講師：岐阜大学教授)



はざこ (オオサンショウウオ) 探索

(3) 高等学校、大学における環境に関する学びの深化・発展

① 高等学校、大学における環境に関する学びの継承

●地域における次代の環境リーダーの要請

- 目的 環境に関する知識を習得し、県の環境学習事業に参加し、実践的な環境学習を体験する
- 内容
 - [対象] 大学生
 - [構成] 岐阜大学の受講プログラムに「環境リーダーコース」を開設
科目受講による単位取得と協働活動

[講座の様子]



協働活動

●次代の環境学習の担い手の要請

(ぎふエコアクション学生アンバサダー育成研修)

- 目的 将来の「岐阜県地球温暖化防止活動推進員」となるための基礎を身につける研修を実施
- 内容
 - [対象] 県内の大学、短期大学、高等専門学校又は高校に在学する者
 - [構成] グループワーク中心の講座（3回）
実地研修（1回）



グループワーク後の発表会



鳥取県のSDGsの取組

～持続可能な鳥取県を目指して～

鳥取県輝く鳥取創造本部とっとり暮らし推進局協働参画課
2025年2月

鳥取県におけるSDGsの推進

2020年度より「とっとりSDGsネットワーク」や「とっとりSDGsパートナー」など官民連携を基軸としてSDGsを本格的に推進し、持続可能な地域社会の実現を目指しています

2030アジェンダ（SDGs）採択

持続可能な開発※に向けて、世界全体で目指すべきゴールを整理



※…将来世代のニーズを損なうことなく、現世代のニーズを満たす開発

2023.9.18 国連SDGサミット

「SDGs達成は危機的状況」

「大半の目標の進展があまりに遅すぎるか、若しくは15年の基準より後退」



(UN Photo/Cia Pak)

ロシアによるウクライナ侵略

新型コロナウイルス感染症の感染拡大

気候変動による災害激甚化、頻発化

SDGs年限



とっとりSDGs宣言 (2020.4)

とっとりSDGsネットワーク発足 (2020.11)

とっとりSDGsパートナー制度創設 (2020.9)

とっとりSDGs自治体ネットワーク発足 (2021.7)

とっとりSDGs宣言

環境や福祉、ジェンダーなど、これまでの様々な取組も礎に、様々な方々とのパートナーシップでSDGsの達成を目指すことを宣言。（2020.4）



- ✓ 持続可能な地域社会づくりのためにSDGsの普及啓発を図り、本県ならではの**パートナーシップを活かしたSDGs推進**に取り組みます。
- ✓ 県の各種計画へSDGsの視点を反映するとともに、**経済・社会・環境の三側面を統合した取組を推進**します。
- ✓ SDGs推進のための**具体的な目標及びローカル指標を設定**するとともに、**県民と共有し、毎年、取組の効果検証**を行います。

オール鳥取県でSDGsを推進

- ◆ 行政や企業、大学、NPOなど、幅広い分野のステークホルダーで構成する「とっとりSDGsネットワーク」が中核となり、SDGsの普及啓発・実践促進を県内で広く展開
- ◆ 県内全自治体(県・市町村)も「とっとりSDGs自治体ネットワーク」でSDGsへの取組に関する情報共有や自治体間の連携・協働を推進
 - ステークホルダーの垣根を越えて、オール鳥取県でSDGsを推進！



とっとりSDGsパートナー制度

- 県内のSDGs活動に取り組む個人・企業・団体に、鳥取県とともにSDGsを推進するパートナーとして登録いただく制度。(2020.9～)
- 「とっとりSDGsパートナー」登録者の取組を後押しするため、様々な機会を捉えたパートナーの取組の情報発信や、パートナー間の交流機会を創出。SDGsの取組を「見える化」し、SDGsの認知度向上や取組の輪の拡大につなげていく。



**とっとりSDGs
パートナー証**

鳥取 太郎 様

あなたを持続可能な地域社会の実現
に向け、鳥取県とともにSDGs推進に
取り組む「とっとりSDGsパートナー」と
して登録します。

令和〇年〇月〇日

鳥取県知事 平井伸治



このパートナー証には、SDGsの達成に向けた取組の一環として、鳥取県知事と連携して登録しています。



パートナー登録者をさがす
Find a Tottori SDGs partner

▶関連するゴールからさがす (複数選択可)



▶業種・地域からさがす

-業種からさがす-

-地域からさがす-

キーワード

この条件で検索

564件ありました

 RYUTSU 流通株式会社 流通株式会社 運輸業、郵便業 倉吉市 	 TAISHU KOGYO 大成工業株式会社 建設業 米子市 	 TOTTORI SDGs 日ノ丸産業株式会社 鳥取市 
---	--	---

とっとりSDGs伝道師

- 県内の学校や地域団体、企業の依頼を受け、講演会や研修等でSDGsの理念を分かりやすく説明し、事例紹介等を行う講師派遣制度。(2021.5～)
- 多様な分野・研修手法の講師15名がそれぞれ特色を活かした講演会やワークショップを開催。
 - 2023年度は、学校や非営利の地域団体を中心に派遣を実施。

<伝道師の所属団体>

(株)山陰合同銀行、流通(株)、鳥取県ユニセフ協会、リコージャパン(株)、Tottori Mama's、東伯中学校、大成工業(株)、美保テクノス(株)、(株)澤寿運輸、(株)鳥取銀行、学校法人かいけ幼稚園、鳥取大学、JICA中国、イッポラボ合同会社、中国電力株式会社鳥取支社



鳥取大学生チームとの連携
(とっとりSDGs未来アカデミー『ゲームで学ぶSDGs』)



小学校での講義

とっとりSDGs子ども伝道師

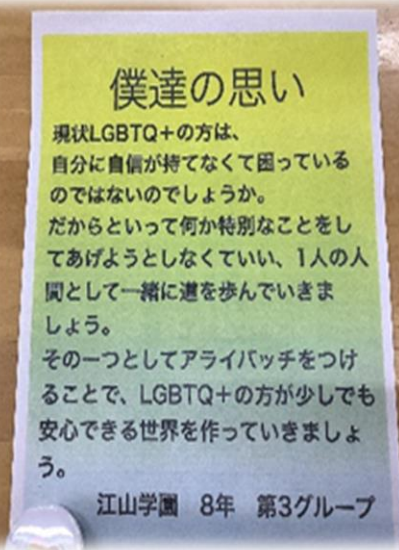
- 子どもの主体的なSDGsの学びや活動を後押し、地域からSDGsの輪を広げていくため、身の回りでSDGsの実践に取り組む小中学生を「とっとりSDGs子ども伝道師」に任命し、率先してSDGsを広める人材を育成(2022.5～)

任命要件

- ①SDGsを学習し、「未来へのメッセージ」を作成
- ②学校や地域でSDGsにつながる具体的な実践を行う

伴走支援を実施

- ・学習や実践活動の支援
- ・地域企業や団体等とのマッチング
- ・イベント等への出展調整
- ・専用ポータルでの情報発信 等



LGBTQ+の啓発



とっとりSDGs子ども伝道師任命式



SDGsフラッグの掲出

とっとりSDGs子ども伝道師の取組事例



とっとりSDGsこども未来創造プロジェクト

- とっとりSDGs伝道師が中心となり、とっとりSDGsパートナー企業と学校が一体となってSDGs学習・実践的取組を実施。



とっとりSDGsこども未来創造プロジェクト



とっとりSDGs子ども伝道師の取組事例



さくら未来プロジェクト

- ▶ 大阪・関西万博への出展を見据え、万博のテーマである『いのち輝く未来のデザイン』の理念のもと、地域課題の解決に向けた商品の開発を地域企業と連携し実施。



デザイナーズ・プロジェクト

地域の農作物のブランド化を図る農作物のパッケージデザインを作ろう！

さくらファーム

フード・プロジェクト

地元の食材を活かして、美味しいグルメを作ろう！

鳥取環境大学

メーカーズ・プロジェクト

環境に優しい材料を使って子どもたちが楽しめるおもちゃを作ろう！

わらべ館 IppoLab

クリエイターズ・プロジェクト

地域の良さを生かした町を設計しよう！

マツワ 鳥取工業高校



とりっこSDGsひろば



- これまで「とっとりSDGs子ども伝道師」に任命された取組紹介のほか、SDGsクイズや学習で利用できる教材や動画などを紹介。
- また、子どもたちに地元企業をより身近に感じてもらうため、県教育委員会とも連携し、とっとり教育ポータルサイトで県内のSDGsに取り組んでいる企業・団体の情報の見える化を実施。



■『パートナーシップでSDGs!』（鳥取県）

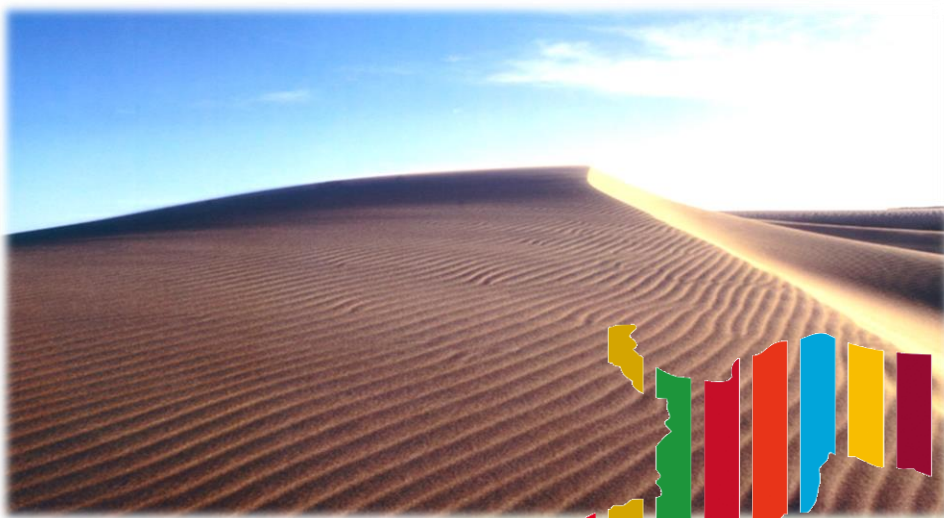
SDGsのポイント、パートナーシップ。
SDGsを達成するには、子どもやおとな、企業や国など、みんなで力を合わせて取り組むことが大切！
子どもたちの活動から、パートナーシップについて考え、行動してみましょう！



■『わたしたちがつくるミライのとり』

けんとうぶ なが せんだいがわ れい みず
県東部を流れる千代川を例にして、水のはたらきによって様々なものがつながり合う仕組みをヒントに、自然と人の営み（産業・くらし）のバランスについて考える教科書をつくりました！





S D G s で 最 大 限 幸 せ に し ょ う !
(S) (D) (G) (s)

ご清聴ありがとうございました。



「環境首都あいち」を支える人づくり

～「あいちの未来クリエイト部」と「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」を事例に～

2025（令和7）年2月
愛知県環境局環境政策部環境活動推進課



目次

1. 世代に応じた環境学習
2. あいちの未来クリエイト部（対象：高校生）
 - （1）本事業の流れ
 - （2）調査・研究内容及び作成した教材
 - （3）学習者の変容・成果と課題
3. かがやけ☆あいちサスティナ研究所（対象：大学生）
 - （1）本事業の流れ
 - （2）パートナー企業の環境課題・解決策
 - （3）学習者の変容・成果と課題
4. 最後に

1. 世代に応じた環境学習

未就学児



もりの学舎

親子や幼稚園等への
自然体感プログラム提供

小中学生



あいち環境学習プラザ

タブレットやハンズオン展示による学習、
社会見学にも対応

高校生



あいちの未来クリエイト部

地域の環境問題の調査・研究
及び教材作成・活用

大学生



かがやけ☆あいちサステイナ研究所

企業等と連携して
次世代の担い手となる環境リーダーを育成

社会人 中高音・シニア



あいち環境塾

企業等各分野で活躍する
環境リーダーを育成



あいちecoティーチャー

経験を生かした環境学習を
次世代に提供



2. あいちの未来クリエイティブ部

あいちの未来クリエイティブ部

あいちの未来クリエイティブ部とは

高校生が専門家等（大学・NPO等）やアドバイザーの指導を受けながら地域の環境に関する調査・研究活動を行い、その結果を取りまとめて教材を作成・活用し、成果を広く発信する活動です。

2023年度参加グループ

愛知県立知立東高等学校 自然科学部

愛知県立豊野高等学校 理科部

愛知県立横須賀高等学校 自然科学部

アドバイザー

愛知教育大学 理科教育講座 教授 大鹿 聖公 氏

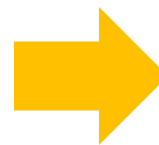


(1) 本事業の流れ(2023年度の活動)

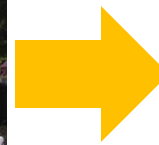
キックオフミーティング(7月)



各グループの調査・研究活動(7~11月)



調査研究発表会(11月)



3グループの生徒が顔合わせ。アドバイザーや講師から、活動の進め方等についてレクチャーを受けました。

専門家の支援を受けてフィールド調査やデータ分析等の調査・研究を実施しました。

豊橋市で行われた「Let's エコアクション in AICHI」にて、調査・研究の成果を来場者に発表しました。また、教材の作成に向けたキックオフとして、教材についての講義を受け、昨年度グループの教材体験や、グループワークでの検討を行いました。

各グループでの教材づくり・実演(11~2月)



活動報告会(3月)



調査・研究の成果をもとに、各グループで話し合ってオリジナルの教材をつくり、その教材を地元の学校や環境学習施設等で実演しました。

過去参加グループの高校生、「かがやけ☆あいちサステナ研究所」の大学生、「あいちecoティーチャー」の中・高年・シニア世代の方々も招いて、調査・研究の成果と教材を発表し、実際に教材を体験してもらった後、交流を行いました。

(2) 調査・研究内容及び作成した教材 (2023年度の活動)

参加グループ名	テーマ及び調査・研究内容	教材の名称及び内容
知立東高校 自然科学部	「堆肥の対比」 ミシシippアカミミガメの駆除で出た死骸を有効活用した堆肥(カメ堆肥)の効果検証と新たなカメ堆肥の作成	「おはじきカメさん(おはじき)」 おはじきをすることで堆肥の材料を集め、よりバランスの良い堆肥を目指すゲーム
豊野高校 理科部	「～大谷川に生き物のすみかを作ろう大作戦～」 環境の違いによる生息生物の違いの調査と小さな自然再生の効果の調査	「川変万化(カードゲーム)」 大谷川の生物や生物がすみやすい環境についてカードを通して知るゲーム
横須賀高校 自然科学部	「悪い空気を食う木ー植物による二酸化炭素吸収の調査」 植物のCO2の吸収量の計測と東海市内の大気調査	「集めろ! CO2の庭! (育成ゲーム)」 東海市を舞台に植物を育て、CO2を吸収するという植物の役割を再認識するゲーム



(2) 調査・研究内容及び作成した教材(豊野高校 理科部)

カードゲーム



川変万化

大谷川の生物についてカードを通して知ろう！
カードを使って生物がすみやすい環境を知ろう！
教材を通して学んだことを、みんなに伝えよう！



主な対象
小学生以上



参加人数
4～6名



所要時間
8～20分

カードには、ポイントが付いている生物カードと、それ以外の効果を持つカードがあります。

また、サイコロの出た目で、山札からカードを引ける「成功値ボード」があります。

手持ちのカードを使って、相手の行動を妨害したり、自分の成功値を上げたりしながら、最後に合計ポイントの高い人が勝ち。

教材を体験することで、川の生物のことを知り、環境にとって良い行動を行うきっかけをつくります。



(3) 学習者の変容・成果と課題 (2023年度の活動)

学習者の変容

【高校生へのアンケート結果から】

- 環境についての意識が少し上がった。
- 一つの視点だったのがいろいろな視点で物事を見られるようになった。
- 自身の意見を積極的に発言するようになった。
- 計画を立てて進めることの大切さ、他の人との連絡の大切さを実感した。

【顧問へのアンケート結果から】

- 研究に対して、自分ごととして、取り組むことができるようになったと思う。
- 回を重ねるごとに、積極的になっていく様子が見受けられた。また、発表にも少しずつ慣れていき、活発になったと実感している。
- 全員で協力して1つのものをつくりあげることで、結束力が高まった。

成果と課題

【成果】

- 活動の中で課題を見出し、それを解決するための調査・研究を検討して実践することにより、課題発見能力や解決能力が育まれた。
- 自分の考えを積極的に述べ、仲間と協力しながら取り組むことができるようになり、主体性や協調性の向上につながった。
- 2022年度の「調査・研究時に生徒と専門家の接点を増やす」という課題に対応するため、専門家と対面で話す機会が増えるよう配慮した。

【課題】

- アンケート結果を見ると、本事業への応募にあたって「専門家の支援が受けられる」ことへの期待が高く、引き続き、調査・研究時に生徒と専門家との接点を増やすことができるようにしたい。



3. かがやけ☆あいちサスティナ研究所



かがやけ☆ あいちサスティナ研究所

かがやけ☆あいちサスティナ研究所とは

未来のあいちの担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。

パートナー企業から提示された環境面での取組に関する課題に対し、研究員である大学生が現場での調査や企業担当者とのディスカッションを実施します。解決策を企業側に提案し、その成果を広くPRします。



2024年度パートナー企業

(株)アルペン	(株)ウッドフレンズ
(株)サガミホールディングス	シヤチハタ(株)
大同メタル工業(株)	(株)マキタ
マックスバリュ東海(株)	(株)LIXIL



(1) 本事業の流れ

開所式(6月)



企業、ファシリテーター、研究員全員で顔合わせ。
活動のキックオフ！

基礎講座(7月)



環境問題やSDGsの基礎を学ぶ講座を受講！
昨年度の修了生の貴重な経験談も聴講。

企業の課題研究(7～11月)



チームで企業を訪問。環境取組の現場調査、
企業担当者とのディスカッションを実施。

チームミーティング(7～12月)



課題研究後、チーム内で振り返りや企画立案の実施。

中間発表会(10月)



研究成果を中間発表。成果発表会に向けて、
発表内容をブラッシュアップ。

成果発表会・修了式(12月)



企業と学生のコラボレーションにより、企業の課題
を解決し、持続可能な社会を実現する方策を提案！ 10



(2) パートナー企業の環境課題・解決策 (2024年度の活動)

パートナー企業	環境課題	解決策
(株)アルペン	「子どもたちがスポーツを楽しめる社会」を将来世代につないでいくための取組を検討せよ	子どもたちと「楽しい」を見つけたい！ 出張授業「未来をつくるスポーツ教室」
(株)ウッドフレンズ	日本の森林資源をサステナブルに活用する、「次世代のまちづくり」を企画せよ	幼老複合施設を中心とした三世帯で暮らせるサステナブルな街をつくる
(株)サガミホールディングス	ゆたかな未来を次世代に！自然にやさしい商品・サービス・店舗を企画せよ	廃棄そばに新たな価値を！ ～「環境」と「ひと」にやさしい取組～
シヤチハタ(株)	“しるしの価値”を提供するサステナブルな製品・サービスを考案せよ	環境を守る活動を「しるし」に ～シヤステナ・プロジェクト～
大同メタル工業(株)	大同メタルと地球環境のミライにつながる、サステナブルな事業所を提案せよ	「工場」×「自然」×「地域」のネットワーク ～犬山の地からつながりを拡充～
(株)マキタ	建設・農林の現場で女性が活躍するための、環境配慮型製品を活用した取組を検討せよ	持続可能な形で 女性も輝いて働ける社会を！
マックスバリュ東海(株)	環境負荷低減の側面から「じもの商品」をPRする新たなサービスを提案せよ	試食×ロコミ 「じもの商品」でつながる地域の環(わ)
(株)LIXIL	オリジナル出前授業「水から学ぶ」をリニューアルするためのコンテンツを提案せよ	「水(みず)から学ぶ」を「自(みずか)ら学ぶ」へ 社会にインパクトを与え続けられる小学生を目指して



(2) パートナー企業の環境課題・解決策 (2024年度の活動)

解決策

廃棄そばに新たな価値を！ ～「環境」と「ひと」にやさしい取組～

課題解決の方向性 [考え方]

飲食店では消費量に対して一定の余剰を必要とするため、食品ロスを全てなくすことは難しいという課題があります。国内の外食産業でそばの消費量1位であるサガミが、生そばの廃棄量を“ゼロ”にすることを目標に、「環境」と「ひと」にやさしい「商品・サービス・店舗」づくりを提案します。

そばロス^{ゼロ}×地域社会

現状

ゆでる前の生そばの廃棄が
各店舗で1日
20人前以上出ている

飲食店なので消費量に対し
一定の余剰は必要なため、
廃棄ゼロにすることは難しい



STEP.1 廃棄予定の生そばをお菓子風にアレンジ

廃棄予定の生そばを揚げることで
お菓子風にアレンジする

サガミの看板商品である
そばの食品ロスを
ゼロにできる

料理の待ち時間に
提供することで、待ち時間を
楽しいものにできる



STEP.2 お菓子と店舗の閑散時間を活用した地域交流

STEP1の揚げそばの味付け体験などを通じて、サガミの店舗を
子供と高齢者が交流できる場にする。

地域交流によって高齢者の独居問題や
子供の“こしょく”（孤食、個食、子食）
問題を解決する。



持続可能な社会へのポイント

- 自然にやさしい＝環境、ひと両方にやさしいと考えることで、サステナブルな社会を創出する。
- 食品ロスを減らすのではなく“ゼロ”にすることで、飲食店特有の問題の根本的な解決につながる。
- 廃棄そばを揚げた“揚げそば”を活用し、子供と高齢者の関わり場の作ることで、高齢者の独居問題や生きがい、そして子供の“こしょく”といった様々な問題も解決できる。





(3) 学習者の変容・成果と課題 (2023年度の活動)

学習者の変容

【学生へのアンケート結果より】

- 問題発見能力と課題に対しての理解力が身についた。会議の経験やプレゼン能力が成長するきっかけにもなり、発表することへの自信につながった。また、企業が新しい企画を考えるときの雰囲気や企業の働き方を知ることができ、非常に勉強と成長ができるプログラムになった。
- 主体的に参加することの重要性を学べた。また、ファシリテーターや企業など、学生とは違った視点からのアドバイスをもらうことができ、多角的に物事を見る力も伸びたように思う。

【パートナー企業へのアンケート結果より】

- 弊社でも課題と捉えつつも対策が弱い・できていない事項について、若者世代のリアルな意見や具体的な改善提案をいただくことができたことが勉強になり、良かった。

【ファシリテーターへのアンケート結果より】

- 学年や学部が違う学生たちが同じ目標に向かって話し合うことに意義は大きいと感じている。
- プログラムの中で企画したことを実施して検証できたことが良かった。実際にアクションを起こすまでのボリュームと実施してみる大切さを学生たちが実感できた。(PDCAサイクルが回せた)

成果と課題

【成果】

- 企業から提示された課題の解決策を研究し、提案することで、知識やスキルを習得するだけでなく、活用する能力が育まれた。
- 企業によっては提案された解決策を採用し、実施する見込みである。
- 学生の柔軟な発想や考え方を取り入れることができ、本業とのシナジーにもなる。
- 前年度(2022年度)の課題である「学生が課題解決に向けた活動を実施したり、チーム間での交流・意見交換を行ったりするための機会をより充実させることで、熟度の高い提案を行えるようサポートしていく必要がある。」に対応するため、「SDGs AICHI EXPO 2023」の県ブースにおいて、学生が課題解決に向けた活動を実施するための拠点を設置した。

【課題】

- 引き続き、学生が課題解決に向けた活動を実施したり、チーム間での交流・意見交換を行ったりするための機会をより充実させることで、熟度の高い提案を行えるようサポートしていく必要がある。

4. 最後に

愛知県では、多様な主体との連携・協働により、

- 高校生を対象とした「あいちの未来クリエイト部」
 - 大学生を対象とした「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」
- をはじめ、世代に応じた環境学習を実施



「環境首都あいち」の実現に向け、持続可能な未来のあいちの担い手を育成する「人づくり」を地域全体で推進

あいちの未来クリエイト部

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/mirai-create-home.html>

かがやけ☆あいちサスティナ研究所

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/sustaina-ken.html>

問合せ先：愛知県環境局環境政策部
環境活動推進課

- 電話：052-954-6208（ダイヤルイン）
- メール：kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp